



平成21年2月4日

各位

東京都世田谷区代沢五丁目2番1号
東邦薬品株式会社
 代表取締役社長 濱田 矩男
 (東証第一部 コード番号8129)
 問い合わせ先
 常務取締役 管理本部長 荻野 守
 (TEL. 03-4330-3732)

平成21年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年10月29日公表しました平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の通期(連結・単体)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期業績予想数値の修正

(1) 通期 連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)
 (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	840,000	9,400	13,000	2,300
今回修正予想(B)	830,000	5,200	8,600	110
増減額(B-A)	△10,000	△4,200	△4,400	△2,190
増減率	△1.2	△44.7	△33.8	△95.2
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	805,419	10,269	13,901	8,381

(2) 通期 個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)
 (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	795,000	5,200	7,600	200
今回修正予想(B)	800,000	2,600	5,000	△1,700
増減額(B-A)	5,000	△2,600	△2,600	△1,900
増減率	0.6	△50.0	△34.2	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	774,734	5,780	8,119	4,755

2. 修正理由

当社は適正利益確保の営業方針を堅持してまいりましたが、特に第3四半期に入り、景気後退等による患者の受診抑制などでの経営環境悪化に起因した医療機関からの価格引下げ圧力が、大病院を中心に歯止めがかからず、加えて卸間における激しい価格競争が継続し、価格決定の状況は想像を大きく上回る厳しい状況となりました。その結果、第3四半期累計期間の各利益項目は予想より低調に終わりました。

今後とも厳しい経営環境の継続が見込まれるため、平成21年3月期通期業績予想を上記のとおり修正いたします。

3. 当期の配当について

なお、当期の配当につきましては、1株当たり20円で公表しておりますが、変更はありません。

(注) 上記の業績予想については、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上